

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 48′ 39″	
				経度	137° 32′ 40″	
石首橋 (フリガナ)イシクビバシ	村道第58号線	王滝村				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
王滝村	2016.10.19	河川	無	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	株式会社 長野技研	点検責任者	吉原潤一
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ 以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	径間1 床版 02 写真-7			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	モルタル割れ	径間1 支承 0102 写真-15			
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅱ	床版ひびわれ、支承部のモルタル割れが生じている。 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員				
1978年	15m	4.0m				
			起点側		終点側	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	支承部【判定区分: Ⅱ】
写真 7  径間 1 床版 02 床版ひびわれ 【判定区分: 】	写真 15  径間 1 支承 0102 モルタル割れ 【判定区分: 】